

2022年6月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2022年5月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2022年5月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (B to B)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432										
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280										
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810										
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680										
一般顧客	55,261	55,126										
金融法人 (B to B)	1,579	1,553										
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
 5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコインネージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。
 6. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替相場は、ウクライナ情勢の混迷により前月に続いて値動きの大きい展開となりました。

米ドル/円は1ドル=129円台後半で取引が始まるとFOMCを控えて様子見となり、130円台半ばまで上昇した後は130円を挟んで推移しました。4日のFOMCでは0.5%の利上げと量的引き締め開始を決定。想定内の発表により市場の反応は限定的となるも、パウエル議長が会見で次回の0.75%の利上げに否定的な見解を示したことで128円台半ばまで急落しました。もっとも、翌5日には売りが一巡し、米長期金利の高止まりを背景にドルが買い戻されたことから一時130円台半ばまで回復。6日発表の米雇用統計では、労働需給の逼迫や賃金上昇圧力が確認されたことで米長期金利が上昇しドルが買われ、9日には約20年ぶりに高値を更新し、月中高値の131円台半ばを付けました。しかし、その後はポジション調整の動きから下落に転じ、インフレや金利上昇の影響を受けた一部米経済指標の悪化によって米景気悪化懸念が台頭。更に米長期金利の低下に伴い下落傾向で推移し、24日には米5月PMIの弱い結果を受け月中安値の126円台半ばを付けました。その後は126円台半ばから127円台後半のレンジで推移し、31日には実需のドル買いに支えられ128円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、概ね月前半に円に対しての高値、月半ばに安値を付け、その後は円に対して上昇傾向で推移しました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円の1日の平均値幅が1.197円(前月は1.256円)と前月より縮小した一方で、欧州・オセアニア通貨の1日の平均値幅が拡大。2020年3月のコロナ相場以来の高い水準となった前々月を上回る非常に高い水準となりました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは当社の人気4通貨ペアである「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」に5月16日より「メキシコペソ/円」をラインナップに追加し、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭(売買同値)を提示する業界初となるキャンペーンを実施しております。また、先月から引き続きゴールデンマネパタイム(17時00分から26時00分まで、以下同じ。)において、5月16日から「米ドル/円」をはじめ「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「ユーロ/米ドル」、「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」、「ポンド/米ドル」の計8通貨ペアのスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しております。

「約定力100%」のパートナーズFXでもゴールデンマネパタイムにおいて「豪ドル/円」、「ユーロ/米ドル」、「ポンド/米ドル」、「NZドル/円」、「南アランド/円」、「メキシコペソ/円」、「カナダドル/円」、「ポンド/豪ドル」、「ユーロ/豪ドル」、「豪ドル/米ドル」の計10通貨ペアにてスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しております。

CFD-Metalsにおいてもゴールデンマネパタイムにおいて「金/米ドル」スプレッド0.2pips、「銀/米ドル」スプレッド0.2pipsの業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。

スプレッド縮小キャンペーンに加えて、パートナーズFXでは6月1日から先月より更に強化したキャッシュバックキャンペーンとして「米ドル/円」、「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」に「南アランド/円」をラインナップに追加し、期間中(6月1日6時10分から7月1日5時55分まで)の取引数量に応じてキャッシュバックを得られるだけでなく、期間中の取引日数に応じて最大25%キャッシュバックを増額しております。さらに当社所定の期間(5月1日6時10分から6月1日5時55分まで)に通貨ペアを問わず1度でも当社でFX取引をされたお客様は、キャンペーン期間中に1日でもお取引いただくと3%のキャッシュバック増額からスタートしていただける内容としております。また、6月1日からはCFD-Metalsでも「金/米ドル」、「銀/米ドル」を対象として、パートナーズFXと同様に取引日数に応じてキャッシュバックが増額となるキャンペーンを実施しております。

これらの結果、外国為替取引高は、米ドル/円の取引高が減少したものの、その他の通貨では欧州・オセアニア通貨を中心に増加し、全体としては前月比6%増加の1,392億通貨単位となりました。営業収益については、取引高が増加したものの、ポジションのロールオーバー時における受渡日の繰延べ日数の関係からトレーディング損益が減少し、前月比5%減少の432百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ減少したことから、全体では前月比160百万円減少の56,680百万円となりました。

以上